

井門式簡易認知機能スクリーニング検査
(Imon Cognitive Impairment Screening Test : ICIS)

氏名 _____ 生年月日 T・S _____ 年 月 日 _____ 歳

検査日 _____ 年 月 日 () _____ 検査者 _____

	設問	評価
1. 今日の日付を教えてください。 (1つ正答につき1点、計4点)	_____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日	4
		3
		2
		1
		0
2. 今から言う3つの言葉を覚えてください。後でまた聞きますからよく覚えておいて下さい。 (教示のみ)	1. りんご 牛 自動車 5. スイカ 猫 船	
	2. みかん 豚 飛行機 6. イチゴ 猿 自転車	
	3. バナナ 馬 電車 7. ブドウ やぎ トラック	
	4. メロン 犬 バス 8. レモン 熊 タクシー	
3. 私の真似をしてください。 ※麻痺のある場合は実施せず。 (A,B 各1点、計2点)	A キツネ(左右の手) ※最初につくった形で評価 両手ともに正答=1点 片手のみ正答=0.5点 両手ともできない=0点 B ハト(1点か0.5点か迷う時は1点とする) 迷わずできた=1点 試行錯誤しながらできた=0.5点 できない=0点	2
		1.5
		1
		0.5
		0
4. ‘か’で始まる言葉を、できるだけたくさん言ってください。ただし、人の名前や固有名詞は除きます(1分間)。 ※同じ単語の繰り返しや変形(傘、傘の柄)、人の名前、固有名詞は正答としない。(計3点)		10語以上 3
		6～9語 2
		3～5語 1
		2語以下 0
5. 先ほど覚えてもらった言葉を教えてください。(計3点)		3
		2
		1
		0
合計得点		
12点満点 9点以下は軽度認知障害(MCI)の疑い 7点以下は認知症の疑い [麻痺などで手指模倣ができない場合は、3番以外の項目の10点満点で採点。] [その場合、6点以下は認知症の疑い]		

井門式簡易認知機能スクリーニング検査 (Imon Cognitive Impairment Screening Test: ICIS)

実施方法・判定について

方法：検査用紙に従って、順に質問をしてください。

1. 見当識

「今日の日付を教えてください」（年・月・日・曜日） 1つ正答につき1点、計4点

2. 記銘（教示のみ）

「今から言う3つの言葉を覚えてください。後でまた聞きますから、よく覚えておいてください。」

8つの選択肢のうち、1つを選んで出題します。

3. 手指模倣

A. 「私の真似をしてください」と言って、

両手でキツネを作ってみせます。

B. 次に、「次はこれです」とハトを作ってみせます。

A キツネ（左右の手）

最初に作ったもので評価します。

両手ともに正答=1点

片手のみ正答=0.5点

両手ともできない=0点

B ハト

自分の体の方に掌が向いているものを正解とします。

迷わずできた=1点

試行錯誤しながらできた=0.5点

できない=0点

1点か0.5点か迷う場合は、1点としてください。

A



B



4. 語の流暢性（心の柔軟性）

「か」で始まる言葉を、出来るだけたくさん言ってください。ただし、人の名前や固有名詞は除きます。」

制限時間は60秒。最初の5秒間に反応がなかったら、「例えば、紙」とヒントを出します。さらに10秒間黙っていたら、「か」で始まる単語なら何でもいいですよ」といって刺激します。同じ単語の繰り返しや変形（傘、傘の柄）、人の名前、固有名詞は正解としません。

10語以上=3点、6~9語=2点、3~5語=1点、2語以下=0点

5. 遅延再生

「先ほど覚えてもらった言葉を教えてください」

1つ正答につき1点、計3点

ヒントを与えずに言えたものを正解とします。

6. 各項目の得点を合計します。(12点満点)

判定

ICIS 9点以下では、軽度認知障害 (MCI) の疑いがあります。

ICIS 7点以下では、認知症の疑いがあります。

(麻痺などで手指模倣ができない場合は、それ以外の項目の10点満点で採点。

その場合、6点以下で認知症の疑い)

認知症の疑いの場合、医療機関で詳しい検査を受けられることをお勧めします。

軽度認知障害 (MCI) の疑いとなった場合も、詳しい検査を受けて、症状を評価されることをお勧めします。軽度認知障害もアルツハイマー病による場合は、治療ができるようになりました。生活習慣病の改善、定期的な運動や活動的な生活に心がけるなど、認知症予防のために出来ることもありますので、早目に対応し発症や進行を遅らせましょう。

物忘れや何かが出来なくなったなど、何らかの自覚症状もしくは他覚症状がある場合

ICISの点数が正常範囲でも、専門医療機関の受診をお勧めします。

認知症の診断は早期ほど難しく、また、てんかんなど認知症以外のご病気の場合もあり、治療で治る可能性もあります。何か症状がある場合は、詳しい検査を受けてください。

(参考文献：日本老年医学会雑誌 2014;51:356-363)

[井門ゆかり脳神経内科クリニック 院長 井門ゆかり]

井門式簡易認知機能スクリーニング検査
(Imon Cognitive Impairment Screening Test : ICIS)

氏名 _____ 生年月日 T・S _____ 年 月 日 歳

検査日 _____ 年 月 日 () _____ 検査者 _____

設問		評価	
1. 今日の日付を教えてください。 (1つ正答につき1点、計4点)	_____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日	4	
	検査者)「今日の日付を教えてください」という。 正答数がそのまま評価点となる。	3	
		2	
		1	
		0	
2. 今から言う3つの言葉を覚えてください。後でまた聞きますからよく覚えておいて下さい。(教示のみ) 検査者)どれか1つを選び教示する。	1. りんご 牛 自動車	5. スイカ 猫 船	
	2. みかん 豚 飛行機	6. イチゴ 猿 自転車	
	3. バナナ 馬 電車	7. ブドウ やぎ トラック	
	4. メロン 犬 バス	8. レモン 熊 タクシー	
3. 私の真似をしてください。 ※麻痺のある場合は実施せず。 (A,B 各1点、計2点) A  B 	A キツネ(左右の手) ※最初につくった形で評価 両手ともに正答=1点 片手のみ正答=0.5点 両手ともできない=0点	B ハト(1点か0.5点か迷う時は1点とする) 迷わずできた=1点 試行錯誤しながらできた=0.5点 できない=0点	2 1.5 1 0.5 0
	検査者) 10語以上		3
	制限時間は伝えず、こちらで計っておき、1分経ったら終了する。時間内に出てきた言葉の数によって評価する。		2
	最初の5秒間に反応がなかったら「例えば、紙」とヒントを出す。さらに10秒間黙っていたら「か」で始まる言葉ならなんでもいいですよ」といって刺激する。		1
	2語以下		0
4. ‘か’で始まる言葉を、できるだけたくさん言ってください。ただし、人の名前や固有名詞は除きます(1分間)。 ※同じ単語の繰り返しや変形(傘、傘の柄)、人の名前。固有名詞は正答としない。(計3点) 物の名前だけでなく、熟語、動詞、形容詞なども正答。			
5. 先ほど覚えてもらった言葉を教えてください。(計3点)			
検査者)「先ほど覚えてもらった3つの言葉を教えてください」という。 ※ヒントは与えずに言えたものを正答とする。1つ正答につき1点を与える。		3	
		2	
		1	
		0	
合計得点			
12点満点 9点以下は軽度認知障害(MCI)の疑い 7点以下は認知症の疑い 〔麻痺などで手指模倣ができない場合は、3番以外の項目の10点満点で採点。その場合、6点以下は認知症の疑い〕			